

# 田舎館村橋梁個別施設計画



令和5年4月

田舎館村 建設課

# 目 次

<u>1. 道路施設（橋梁）の現状と課題</u>	<u>.....1</u>
<u>2. 道路施設（橋梁）のメンテナンスサイクルの基本的な考え方</u>	<u>.....1</u>
<u>3. 計画期間</u>	<u>.....2</u>
<u>4. 対策の優先順位の考え方</u>	<u>.....3</u>
<u>5. 施設の状態・対策内容・実施時期・対策費用</u>	<u>.....3</u>
<u>6. コスト縮減・新技術の活用</u>	<u>.....3</u>
（別添1）田舎館村橋梁定期点検・修繕計画	
（別添2）対策内容・対策費用	

# 田舎館村橋梁個別施設計画

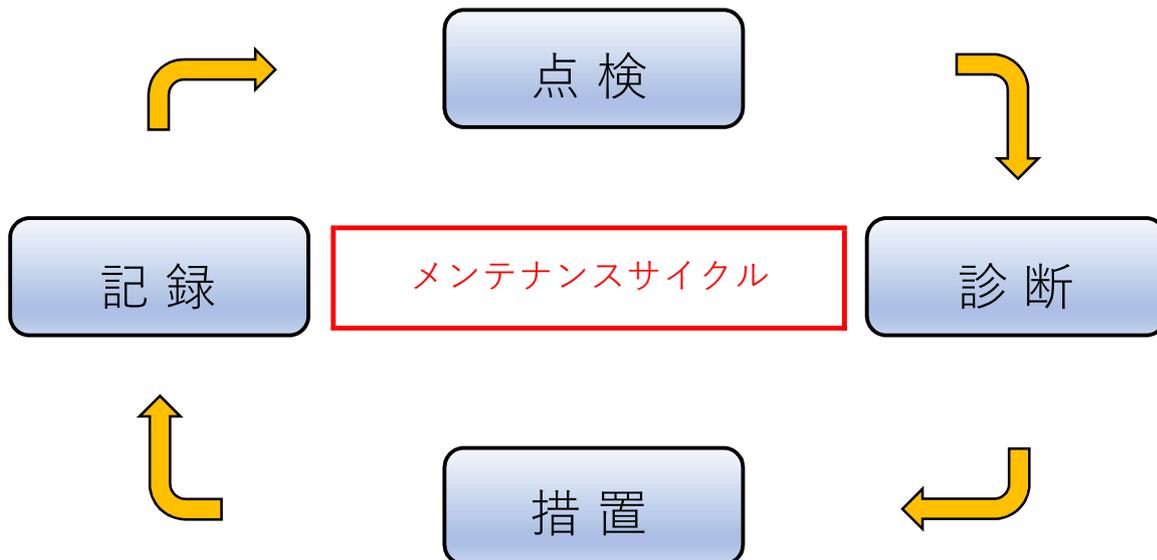
## 1. 道路施設（橋梁）の現状と課題

田舎館村が管理する橋梁は令和4年3月31日現在、橋長15m以上が2橋、橋長2m以上15m未満が86橋、合計で88橋を管理しています。架設年度が古いものが多く、推定で全体の36%は架設年度が50年を超えています。架設年度が不明橋梁も3橋あり、10年後には全体の半数以上が仮設年度50年を超え、老朽化が急速に進んでいく状況にあります。

このような状況となっていることから、定期点検による確実な状況把握（早期発見）、点検結果に基づく確実な対策（早期補修）が必要となります。

## 2. 道路施設のメンテナンスサイクルの基本的な考え方

平成26年7月に道路管理者は、近接目視による道路施設の定期点検を5年に1度行うことが義務付けられました。また、老朽化対策の実施にあたりメンテナンスサイクルを着実に回し、適切な維持管理に努めていきます。



メンテナンスサイクルの実施に伴い、定期点検要領等に基づき、5年に1回の近接目視による点検を実施し、橋梁等は健全性を把握するため健全性の診断を行い、診断結果により下表のとおり構造物の状況を把握します。

点検・診断結果に基づき、道路施設の機能や耐久性等を回復させることを目的に、必要な措置を効率的・効果的に行います。点検結果、補修等を記録してメンテナンスサイクルを回すことで老朽化対策を推進します。

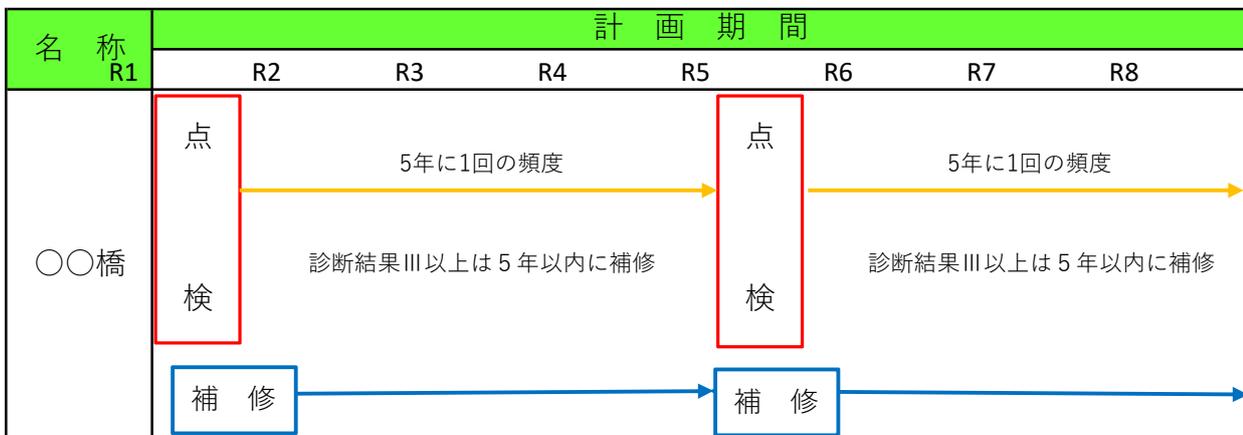
### 橋梁等の健全性の診断結果の分類に関する告示

区 分		状 態
I	健 全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずるべき状態
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずるべき状態

### 3. 計画期間

計画期間は、5年に1回の定期点検サイクルを踏まえるとともに、長寿命化修繕計画の計画期間と合わせることで、令和15年度までとします。なお、点検結果等を踏まえ、適宜計画を更新していきます。

### 点検計画イメージ表



## 4. 対策の優先順位の考え方

点検結果に基づき、効率的な維持及び修繕が図られるよう橋梁の健全性の他、第3者への影響度や、路線の重要度などを総合的に判断して必要な措置を講じます。対策の優先順位の考え方として、下記について勘案し修繕等を行います。

- ① 損傷度合（判定区分Ⅳ>判定区分Ⅲ>判定区分Ⅱ 等）
- ② 損傷が第3者に与える影響（橋長15m以上>橋長2m 等）
- ③ 路線の重要度（交通量、通行者の数、迂回路の有無 等）

## 5. 施設の状態・対策内容・実施時期・対策費用

平成26年度から平成30年度にかけて、村が管理する橋梁88橋の点検を行った結果、判定区分Ⅰ 83橋、判定区分Ⅱ 5橋となっています。

また、令和元年度から令和4年度にかけて、村が管理する88橋を点検した結果、施設の状態を区分すると、判定区分Ⅰ：68橋、判定区分Ⅱ：10橋、判定区分Ⅲ：10橋となっています。

平成21年度の策定から令和元年度、令和4年度に計画の更新を行い、橋梁長寿命化修繕計画と各年度の点検をもとに点検計画を組み3巡目については令和6年度から令和8年度を予定しています。修繕計画は別添1、対策内容・対策費用については、別添2のとおり予定しています。なお、点検結果や予算措置状況等に応じて、随時見直しをしていきます。また、令和4年度の長寿命化修繕計画改訂により2m以上、15m未満の橋梁についても長寿命化修繕計画の対象とし、より計画的に修繕等を行います。

## 6. コストの縮減・新技術の活用

令和4年度の橋梁長寿命化修繕計画の改訂により、新たにコスト縮減、新技術の活用についての項目を追加し点検の効率化及び、高度化を図り、修繕においてもコスト縮減を図ります。また機能縮小が可能な橋梁を選定し、維持管理コストの縮減を行います。詳細については、令和4年度田舎館村橋梁長寿命化修繕計画を参照ください。

平成26年度～平成30年度（1巡目）橋梁定期点検判定区分一覧表

	判定区分	判定区分	判定区分	判定区分	合 計
	I	II	III	IV	
H28	3	0	0	0	3
H29	79	5	0	0	84
H30	1	0	0	0	1
合 計	83	5	0	0	88

令和元年度～令和5年度（2巡目）橋梁定期点検判定区分一覧表

2巡目	判定区分	判定区分	判定区分	判定区分	合計
	I	II	III	IV	
R1	0	0	1	0	1
R2	25	0	4	0	29
R3	23	9	3	0	35
R4	20	1	2	0	23
R5					0
合計	68	10	10	0	65